



日本ナレッジ・マネジメント学会

目まぐるしい環境やニーズの変化に対応するため人間のナレッジをいかに有効に役立てていくか理論体系を確立し、その体系について世界各国と交流を深めていくことを目的としています。

日本ナレッジ・マネジメント学会 第 27 回年次会員総会 開催レポート

2024年5月26日（日）、日本ナレッジ・マネジメント学会(KMSJ)第27回年次会員総会が開催されました。



日本ナレッジ・マネジメント学会
会員のみなさまへ

若葉の鮮やかな季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第27回定時会員総会をオンラインにて開催いたします。
2024年度の活動方針や計画、理事の改選など重要な議題を用意しております。

十分なるご審議をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年6月

日本ナレッジ・マネジメント学会
会長 一條和生



==総会資料ならびに一條会長の講演スライド、各研究部会今年度活動計画書は、当学会ホームページの会員専用ページ

[<https://kmsj.org/member/>](https://kmsj.org/member/)に掲載しております。会員（年会費を振り込んでいる方）の皆様には、

事務局より当該ページログインのための ID/パスワードがご案内済ですので、そちらをご参照ください。

会員入会のフォームはこちらです。[<https://kmsj.org/intro/application/>](https://kmsj.org/intro/application/) 是非、この機会に会員入会をお勧めいたします。

◆第 27 回年次会員総会の概要報告◆ 穂積理事の司会による進行

<議題> 一條会長による 2024 年度活動方針の発表、ならび
に各号議案報告

一條会長による opening remarks は、単に事務的な活動方針発表のみならず。
我々日本ナレッジ・マネジメント学会の使命に立ち返り、世界の現況をフラットな視点で眺めながら
将来に向けて、如何なる方針で活動していくか、という水先案内でありました。

日本ナレッジ・マネジメント学会の課題

ビジネスリーダーがレジリエンスを発揮するために、日本ナレッジ・マネジメント学会はどう貢献できるか

知識創造企業における両利きの経営： New Knowledge Management

AI と人間の知識創造の両利きの経営を実現する ナレッジマネジメントの新局面の探索

活動方針は美しい言葉で語られ、聴くひとにとって、視野が広がるものであったように考えます。

◆◆議案は以下の通りです。

第 1 号議案 第 26 期(令和 5 年度)活動報告及び決算報告案承認の件

第 2 号議案 第 26 期(令和 5 年度)会計監査報告の件

第 3 号議案 第 27 期(令和 6 年度)活動計画及び予算案承認の件

第 4 号議案 役員人事

◆◆◆議案承認

⇒西原理事からの各議案説明

各号につき滞りなく承認されましたことを、ここに謹んでご報告いたします。

以上をもちまして、日本ナレッジ・マネジメント学会（KMSJ）第 27 回年次会員総会の開催レポートとさせていただきます。

ますます進化する KMSJ にご期待頂くと共に、皆さまへ、学会活動への積極的なご参画をお願い申し上げます。

編集担当：KMSJ 広報アドミチーム

編集文責：広報アドミチーム 清水美也子

発行：日本ナレッジ・マネジメント学会（KMSJ）会長 一條和生